



浜風だより

オール浜崎大運動会



令和5年(2023)9月10日、コロナ禍で休止されていた浜崎九友会主催の浜崎町民大運動会が4年ぶりに開催されました。第四十二回目ということですから、始まったのは昭和54年(1979)ということになります。今回ご紹介する写真は、それよりも以前に開催されていた浜崎町内運動会の様子を撮影したものと考えられます。とある方のアルバムを複写させていただいたのですが、残念ながら撮影年が付されていませんでした。住吉神社の境内で開催されていることから、昭和22年(1947)開設の住の江保育園におたずねしましたが、該当する資料は保管されていないということでした。ならばと、昔から浜崎にお住いの方々におたずねして回りましたが、なかなか特定には至りませんでした。

ただ、幾つか重要な情報を得ることができました。例えば、大正14年(1925)にお生まれのMさん(どなたか皆さんお分かりですよね・)は、二十五・六歳の時にこれに参加されたということでした。また、昭和17年(1942)にお生まれのFさんは、小学校4年生のころにリレーに出場して一位になったこと、そして新町下の丁が総合優勝し、大会の後に、町内会長Aさんの先導で優勝旗を持って町内を行進したことを思い出して下さいました。つまり、昭和25年(1950)頃には、この運動会は開催されていたということなのです。

これを受けて、図書館に保管されている古い地方新聞などを確認しました。すると、「萩市報」の昭和26年(1951)10月12日号に、以下のような記事を見出すことができました。そのまま引用します。

「浜崎町愛護会連合会結成 浜崎八区では既にそれぞれ児童愛護会が結成されているが、九月十三日浜崎全区の児童愛護会連合会が結成され、会長に竹内八郎氏、副会長に三坂勉氏、大田利義氏が就任された。結成式終了後、住の江保育園と共催で連合運動会が催され児童約八百名と共に保護者多数が参加、一千数百名の親子が秋晴れの日光を浴びて終日競技に打興じた。」

いかがでしょうか。「児童約八〇〇名」、「一千数百名の親子」という参加者数に驚きますが、あらためて写真を見ると、「児童愛護会」の旗が多数翻り、幅広い世代の方々が参加され、そして笑顔があふれています。

浜崎地区の活気が伝わってくるこれらの写真は、この萩市報に報じられた運動会を撮影した可能性が出てきました。

その後、住吉神社に「オール浜崎大運動会」「オール浜崎協賛会」の文字が染め抜かれた優勝旗が保管されていることも分かりました。愛護会連合会結成を機に始まった運動会は、協賛会主催でしばらく開催された可能性も見えてきました。ただ、いつまで続いたかはよく分かっていません。この運動会について何かご存じの方がいましたら、ぜひご教示をお願いいたします。



清水満幸さんの著書 が発刊されました



清水満幸

本紙のコラムをお願いしている清水満幸さん(前萩博物館館長)の著書「萩再発見・語り継ぎたい歴史と民俗」が発刊されました。深い考察のもと、萩の歴史や民俗を中心に、「浜風だより」に寄稿して頂いた浜崎の産業や住吉祭りについても書かれています。ぜひお買い求めの上、ご一読ください。

浜崎朝市

12月3日(日)

開催決定

5回目を迎える浜崎朝市。地元の方はもちろん、昨年は観光客の方も多く来場され賑わいました。今年はおいしいものをもっと集めます。東京からフレンチで二つ星を獲得した入江誠シェフに来ていただき、市場で料理を提供してもらおう予定です。他にも盛りだくさん。詳しくは後日配布するチラシをご覧ください。おたのしみ。



神田京子 講演 in 御船倉



10月1日 萩で初めての神田さんの公演です。軽妙で華のある語り口で、昼・夜とも満席の会場を京子ワールドに引き込みました。お客さまからも予想を超える大きな反響を頂き、主催者としても企画した甲斐がありました。



今年、御船謡に **新乗りさん** が誕生しました。浜崎二区の

宮田哲也さん(35才)です。



この度初めて御船謡に参加させて頂きました。当日はとても緊張し、また猛暑、長時間の正座と苦勞しましたが、先輩方に優しくアドバイスを頂き何とか謡いきることができました。今後より良い謡が謡えるよう精進してまいります。

ポートサンスタンド オープン!



浜崎市場前にドリンクスタンドがオープンしました。店内から市場と海が見える、大きな窓がめぐるしです。クラフトビール ワイン クラフトコーラ コーヒー ジェラートの他、焼き菓子や、おつまみなどを計り売りしています。吉岡さん、小川さん、松田さん(写真左から)の3人が交替でお店に立っています。テイクアウトもできますので、散歩のついでに立ち寄られてはいかがでしょうか。

営業時間 10:00 ~ 17:00
土曜は21時 日曜は19時まで
定休日 水・木曜日

あっちゃん先生の ひとことアドバイス



2020年の新型コロナウイルス感染症流行以降、昨シーズンは3年ぶりにインフルエンザの流行が認められました。今シーズンは、新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じ5類に位置付けられ、マスク着用やその他の手洗い消毒などの感染症対策の実施頻度が低下しているため、すでに季節外れの流行が認められています。インフルエンザウイルスにはA型、B型、C型の3つの型がありますが、冬に流行する季節性インフルエンザはA型とB型になります。インフルエンザの主な症状は、咳や喉の痛みなどの呼吸器症状だけでなく、突然の発熱(38度以上)、全身倦怠感や食欲不振などの全身症状があります。また関節痛、頭痛、筋肉痛などの症状も現れます。合併症としては気管支炎、肺炎、中耳炎、重大な場合には急性脳症(インフルエンザ脳症)、重症肺炎があります。年間の死亡者数が平均で1万人超と推定される注意すべき感染症です。治療には内服薬、吸入薬、点滴などがあります。インフルエンザと診断された方は発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで自宅安静となり、学校では公休扱いとなります。保育園や幼稚園は年齢が小さいため、解熱した後3日を経過するまで休むことになっています。この冬はしっかり予防対策をしてインフルエンザにかからないよう注意してください。

感染予防対策

- ①帰宅時、調理前、食事前などに石鹸を使ったこまめな手洗い
- ②免疫力を高める十分な睡眠とバランスのとれた食事
- ③インフルエンザワクチン予防接種(重症化予防)
- ④加湿をして適度な湿度(50~60%)を保つ
- ⑤インフルエンザ流行時は人混みを避ける

わたぬきクリニック院長 綿貫篤志

◆編集後記◆
浜崎しつちよる会が活動を始めて25年になります。みんなよくここまで続けてきたなあという思いと、まだまだこれから、という気持ちもあります。
記事にあるように、また新しいお店がオープンしました。これから予定されている案件もあるようです。
新しく入った方は一様に「浜崎は他所とくらべて、やりやすい」と言われます。そういつた人を受け入れる住人の気質があるのかもしれない。ここ数年の浜崎の動きは注目されており、よく話題にのびますし取材も入ってきます。これから5年後に、どんな変化が起きているのか、たのしみです。

編集委員 宮田・川久保・岩崎
石村・平野・末益

